

定例記者会見 市長コメント（概要）

①令和6年6月釜石市議会定例会付議事件について **資料1**

6月10日に招集する定例会に付議する事件は、22件で、内訳は、報告2件、専決処分の承認16件、条例1件、予算2件、その他の議案1件。条例では、「釜石市市税条例の一部を改正する条例」などを提案する。

今議会に提案する予算は、令和5年度の繰越にかかる報告2件、令和5年度補正予算の専決処分2件のほか、令和6年度補正予算2件である。

資料1－5「予算の概要と主要事業」の11ページ、令和5年度補正予算の専決処分は、一般会計及び水道事業会計の2件。一般会計の補正額は3,200万円の減額で、補正後の予算額を246億5,500万円としたもの。

ふるさと寄附金に係る基金積立金の調整等を行うとともに、繰越明許費補正、債務負担行為補正を計上している。

なお、令和5年度のふるさと寄附金は約8億8,000万円で、前年度と比較して約1億円増加している。

6月補正予算について、資料の1ページをご覧ください。

今議会に提案する補正予算は、一般会計及び公共下水道事業会計の2件。一般会計の補正額は4億6,200万円の増額で、補正後の予算額を231億1,600万円としたもの。その中で新規事業は、資料7ページの通り3件、3億175万8千円を計上している。

今回提案する予算のうち、主要な事業を資料に沿って説明する。

資料3ページ番号2の「定額減税に係る調整給付事業」、予算額2億4,600万円は、国の総合経済対策に基づき実施する令和6年分の所得税及び令和6年度分個人住民税の定額減税において、減額しきれないと見込まれる方に対し、その差額を定額減税補足給付金として給付するもの。

資料3ページ番号3の「自動運転バス実証事業」、予算額5,193万5千円は、運転手の高齢化や人手不足により、地域公共交通の維持が難しくなることが予想されることから、将来的な自動運転バスの社会実装に向けた検討を行うため、自動運転技術の立証や社会受容性の向

上を目的とした実証実験の実施を予定しているもの。

資料4 ページ番号5の「災害被災地応援経費」、予算額100万円は、4月3日に発生した台湾東部沖地震により被害を受けた被災者の生活再建及び復旧・復興を応援するため、見舞金による支援を行うもの。

資料4 ページ番号6の「物価高騰対策給付金事業」、予算額6,652万7千円は、国の総合経済対策に基づき、令和6年度において、新たに住民税非課税又は住民税均等割のみ課税となる世帯に対し、1世帯あたり10万円の支給と、その対象世帯に児童がいる場合には、こども1人あたり5万円を加算支給するもの。

資料5 ページ番号8の「妊産婦支援事業」、予算額283万6千円は、本年1月30日以降、県立釜石病院において、新たに妊婦健診を受診する方の受け入れが休止されたことから、通院に係る経済的支援を拡充するため、「妊産婦健康診査等アクセス支援助成金」の対象通院回数を増やし、助成金の上限額を撤廃することとした通院支援の拡充や、妊娠や出産、産後に関する悩みや不安を抱える妊産婦への個別相談及び入浴指導などの実施に係る環境改善と心身のケアの充実を図るもの。

資料5 ページ番号9の「予防接種事業」、予算額8,140万1千円は、予防接種法に基づき、今年度から定期接種となった新型コロナについて、65歳以上の高齢者及び60歳から64歳の重症化リスクの高い方に対し、接種を行うもの。

その他の主要な事業は、資料3 ページ以降をご覧ください。

②フランス共和国ディーニュ・レ・バン市との姉妹都市提携30周年記念事業について

資料2

当市とフランス共和国のディーニュ・レ・バン市は、平成6年に姉妹都市提携を締結し、今年で30周年を迎える。

この節目の年を迎えるにあたり、ディーニュ・レ・バン市から代表団を当市に招へいし、記念式典を行うとともに、代表団の招へいに向けて、釜石市民の機運醸成を図り、第六次釜石市総合計画に掲げる「多様な連携と交流によるまち」を推進してまいります。

ディーニュ・レ・バン市からは、パトリシア・グラネ市長をはじめとする代表団6名程度が、本年9月21日から3日間程度、当市に滞在する予定で調整を進めている。

当市に滞在中は、姉妹都市提携30周年の記念式典やレセプションのほか、関連イベント及び市内各所の訪問、市民との交流などを予定している。

併せて、市民の機運醸成に係る関連事業として、市民周知に努めるほか、庁内関係課が連携して関連事業を順次開催していく。

ディーニュ・レ・バン市とは、平成4年に開催された「三陸・海の博覧会」で「アンモナイトの壁」の原寸大剥離標本の複製を展示したことをきっかけとして姉妹都市提携を締結し、以後、児童生徒の絵画交流などを行ってきた。

一時期、交流が停滞した時期もあったが、東日本大震災後にディーニュ・レ・バン市から慰霊のための訪問団が当市を訪れるなど物心両面にわたるご支援をいただき、その後は代表団や市民レベルでの相互訪問など交流が再開している。

この姉妹都市提携30周年記念事業がさらなる両市の交流推進と友好関係に発展し、ひいては第六次釜石市総合計画に掲げる「多様な連携と交流によるまち」の推進に繋がるよう取り組んでまいりますので、市民の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。